法乃え

涌蓮法師詠歌

188.74
E84h
(W)

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h

ガラス使用

188.74E84h

国立国会
25.3.31
図書館
112587

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h　ガラス使用

寫于涌蓮法師詹幷

法橋雪堂

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h

ガラス使用

予欲再刻此書。以警策心行。乃謀友人雪堂敬阿法橋。法橋深心随喜。捐資助刻。又偶遊嵯峨。訪法師舊居捨莽。有感。自寫其光景。見寄之。因載之卷首。以慰懐舊之情云

浄業優婆塞　定阿謹識

国立国会図書館蔵書

題涌蓮上人詠歌卷

公人號龍象。道德本相聞。每論出世意。吾門稱逸羣。君不見禪餘游戲善國風。縱同神變亦何工。素志不染紅塵色。超然遠欲追西公。此去金策凌空過。潛光晦迹隨嵯峨。山川相暎發藻思何

堪應接多。開花落木通禪意。
月孤雲入和歌。栖丘飲谷三十年。
卜居不用買山錢。常觀浮生如夢
幻。沈思道行老益堅。衣鉢之餘
無長物。偶因好事留此編。君不聞
五百年前圓光大師陳敬言。
大東初開海土門。海内翕然歸
行化。之人孰歎報慈恩。此道内來
易撼情。撼物應感自生。前見
安汰吐珠玉。後聞斌亮振金聲。
乃知妙緒之人継。一言一詠存和濟。
無奈一朝疲津梁。風霜現病奄然
逝。回首乾坤迩已陳。空餘此編傳
故人。〻〻寂仰高風久。每恨不為蓮

社交風流自為追思切能令慎音毛
不朽。

光澤　釋亥門和南

涌蓮法師法乃元れはし書

師久ふ可ハ以ゆゑ免でたきも其事理。
ことをおもへまで世務をうけくしぶを
よみせれバ名利をすれる事ふる
觀念。折りしるべふ修行。すこしやもく
こゝ花がこゝ。花ちる春れ何しこそ。
當なのき風の花ぶきぐこれ我ちる。
月てる秋のよひハ。みぐるし雲乃松

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h

ガラス使用

ひんうほをまゝつれば。おれきゝあるしまの
そこゝれる人にあらねど。おなじ御法の江
り遊べるかひだりふ。いまゝけ大徳まん
まふ志をうまどひたるもれに似たれば。か
く随喜の一言をえたへぬるも。なかし
をこなりや
文化十三ひのえ子れきこ五月廿八日
洛東専念沙門順阿こ敬法

法のえ跋言

○此ふゝ。ざらに江戸人道閑居士。あづさにちなぐめ。
芸提樹居の義書となれるゝ。それにじめに。釋
雲つの詩一篇を附す。しるゝふ道をくして
うれ書をもとむるに得がたければ。今それを翻
刻す。ゆゑにかの詩と奥書と。ともふこれ法の
す。他の切を泯ぜんことを思ひてなり

○此分は。圓光大師の。一枚起請の文字をかゝる
にして。毎首。歌欣。念死。安心。起行れ定義よめる
なり。実に吉水の法流は汲ゆて。他力易行の

112587

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h　ガラス使用

深さを出すものにいらぬ。よみ出かられなる。
よんん人にやすく肴(そ)すぐして。昨の揚(さま)りれを見(ひろ)う
することになる也

○近ごす頃本にかゝる事とおもひ類せるも此法のえ
なり。類をいらぬしはいかるぞや

○法昨家集。獅子巌和歌集と題して。ちらく拝
にのぼせるもれありときなる。たづぬべし

○ゑし末のとる大昨六百回御忌の御伴等談
録これを知ひてよめる讀法の江と類せるかゝる
分あるを異本まで行る

上人ノ知人ガ上人ニ対シ古キツケテモメリシ一冊ヲ上人仙化ノ後、吉田元長捜シ出シテ校ニ上ヲセツ

獅子巌和歌集類題一
文化五年
家井雄言
序アリ歌
總計約
一千四十首
部立
四季意報
文化十三年出版
同書ノ奥ニ獅子巌和歌集類題拾遺 近刻」ト見ユ

涌蓮法昨傳

僧涌蓮は、伊勢の人一向宗の田流乃僧にて、江
戸の浣家北に住職をるが、宮僧傳をよくしたきり
に感發し、痛く悟ざるよしは一本出城とぞ、菜
衣しいらるゝ、無ひくひとり京へのぼりて浣滅
し住ゑ、生涯一物もたくへず、明暮念佛する
つゝゐまは、うたひよめるしよ、宮書一本をとゞふ
もたらねど、詞をかざることもなく、おもひにまゝ形
しるが、也へりて志率(しんそつ)、人の神ならぬ和ありき、老
ある人なりしかども、人にしたふもとられんさるは

硯ヲ愛シテ作ラシメタルヲ集中ニ二三見ユ、オオガノ勢奇心ハアリシナルベシ

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h
ガラス使用

集ニ見ユ

筆を附したまへる

住かたは都乃ゆと少しながら要へるぞとまちも給ふなり

御かへしほまりて来りしは、五首ばかりなるに、

其麗なるそこに身の無きも今更くやしまるまでいれて

といへるかは今わすれたり、又ある時ほとびとこの御

かしへまゐらせなる時添たる事

たてまつる亀の尾山の子嚴は無代かぞつるまに似たる

入道殿、高貴ド給ひ、秀歌ゝ返しまことなれ給ふ

まひしとかや、はるゝ安永三年のとし五月廿八日

彼郷薨ど給ひ、此法師も六敷なり、同しく五月

日なりなるもあやしくいつ見なる笑なりなる」此上は

花頭子（伴蕃蹊）がいふはせる、近世略人傳三乃巻のぬき

がたなり、かれまは法師のよみ方多く出せると

こゝまはそぶなり

おの見所あげまふいふし法、ある人ゝ少ぬるは、

法師ゝ僧侶とよみくふるく、戒流俗乃

男なるなりく海見しおうて妻をむかふべきよし

親族乃はかりなるまで、いつてしくまげ出たる

とて、陳子に書給されしか

よのうさふせひかへなるは山のおくの庵ゆるくねそ少べかりなる

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h　ガラス使用

さくこゝろをかけて後、浄家乃知識によりて更戒
侍法し法を行ひ清浄にして当時念佛意修功
ぬかくそれ終身いつとめでたかりきといはり
廣泰院、涌蓮上人達空と號して、墓ハ
小倉山乃ぬるゝ心にありく、その遺菴も今
なほなせりとなん

此とし寶曆十一年正月
元祖大師五百五十年乃法を志をむかへ至て両つりし小念佛
中かゝハ鼓恩乃法とめも侍らぬものを姉とおりひ立 為一枚
此法擬文をとりし後よいてゞかせてあり小弄乃ゑれ法と見の
ぬりくよとし後来かきあつめ侍るも例のくせにかなむ年
年ハ三百四十二年に年姫いゆしきゑ此ゑ法ニ月んもくつし
あれどうしや初心の行者の見そいさしか厭飲のこゝ後
すむるそこと祭ともな後だけのお話が明るまハ大なるに鼓恩
なりんかしやうちも座しで同志の人へ見せ侍る

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h　　ガラス使用

りと落してハまだ来て三世生死におもつきしハ胃もみえずし
つまんじんようさ世をみれて信せず世をわれずむ日もとより有がたき（林間よし）
所くざるものなりひすつよりあり程ども又なとつき終もすみぞや
如くたとへ今こそあはれむまくの道をばさらねきうとくしこそ
らく目にしたまく西の山の月をふりむかひしにひとし事をばいたづらにかな
あるは誠より於りひきとらめるかまはそれで三の学びの足もなくなし
なをし眼未に世よそてもすで居まちかひの法は花はとり去なる

知行合一

つまを捨る事を捨る法は理よわらし事を行へば理は中にあるとぞ
この法は如説修行は事をまずおこなふ理とは佛のこころなりけるぞ

みがれてもよにいでさはどうしてつるは月どらむかし程はつとめられざる
かどくはかなし常世はよしむべし佛の慈悲はかぎりをしられ付
かどるをわふべいらぬ今もしられたすくに程がいずれ世間の人
ふでるまわすむてる後をとにでは佛教をとるこのよ世常へよ
わとしむらふ心をさかりて捨ぬ物なりとけふの恥とこしらずや
くげきてはわつくのこころよとは聖の文字そそくまとして落
かさぬる梅の下風こころさせよ苦の中にも人もそうがむかし
う後おこるをか後くもなむ皆人は六根と利よ止苦をわすよ
こかすわる六道の親みはかめのかぎりなくはいとぞゆく

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』　請求記号 188.74-E84h　　ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h　　ガラス使用

すゑの世ハ尚もてしら子を五百年さしも待へしけり乃牝
爲ぶてなきちらひの山尾をよしかりのんにつきて唱へうしゐる
志る人今猶もまづ[illegible]こゝに此度の出離の大事忽緒にする

まちうへ里ミれがあや明しの里のえに
うれしとゝ[illegible]かきしもしくばを

此一帖是滴蓮上人ゑつゝ書給へ家を唯称法師の
はしへとゝまへ[illegible]志あしむ人ゝにこゝを待りてこ而

彼上人の事ゑにもかなひ待ほめ志うせまとてなむ
とのまゝにゆきて[illegible]ゑ給ひ[illegible]れは其ゑ[illegible]紀の詞を
うけしとゝのやうくゝのつきにちりもあ[illegible]菩提樹庵の
蔵書とハなし勢力ほしう思ふん人ゑうし
此れ陰ひし立よりもりと見たまへかし

滴露菴道閑

あが先師法眼和尚老後に[illegible]て經論[illegible]
いまだ[illegible]ところ此法の元の和尚両三首は此じ
それ[illegible]と説き[illegible]
に[illegible]を[illegible]日ごとに[illegible]
いとも[illegible]しかば其人と此書を得まく[illegible]
[illegible]
に此法未[illegible]蓮友[illegible]河の二居士[illegible]
[illegible]
[illegible]此書の[illegible]世に

行[illegible]に利物編[illegible]先師と
花の[illegible]
と[illegible]
[illegible]
[illegible]

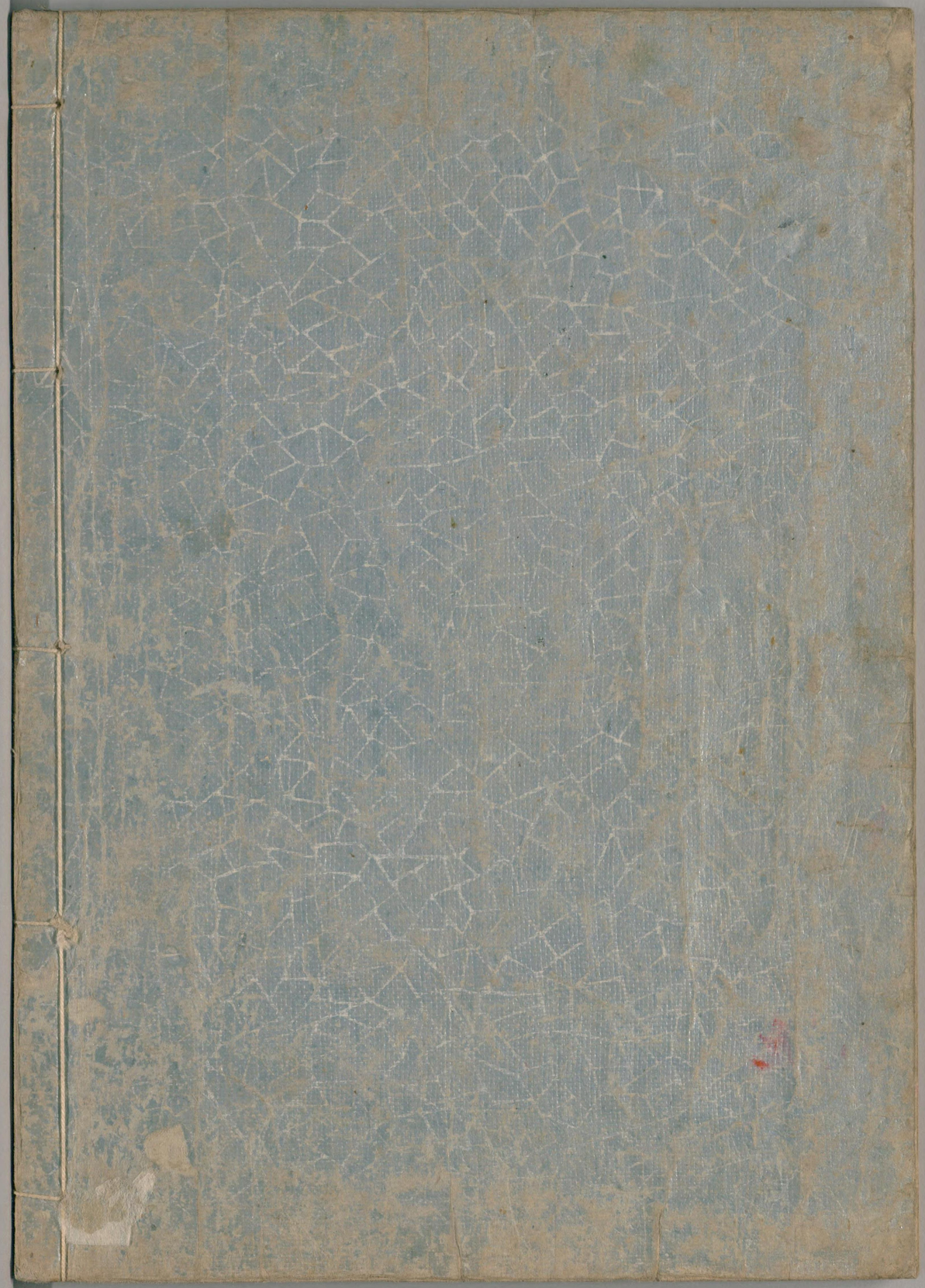
文化十三丙子[illegible]七月

長門國大昆浦西[illegible]寺[illegible]門[illegible]

洛東專念寺藏

国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h

ガラス使用



国立国会図書館　タイトル『法のえ』 請求記号 188.74-E84h

ガラス使用